

課 題	R4年度の取り組み	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・移動手段が無く外出しづらい。 ・やすらぎの間利用者の高齢化に伴い参加者減少。 ・いきいき塾は高齢者の健康づくりに役に立っている。 ・老人クラブ(車場)では、コロナに負けないように皆で集まれないかということで活動している。あったかネットの協力員として訪問した。民生委員の活動や見守りの大切さを確認した。 ・荻川の子ども人口に対して、子ども食堂に来る率が低いと感じる。 ・子ども食堂とは何か、原点をしっかりとつかむ必要がある。 ・7月に立ち上げた川口の「ほうかご広場」には参加者が来なかった。 ・コロナ禍である今のうちに、組織づくりが大切ではないか。 ・支え合い活動は、自治会・町内会がとても大事である。自治会・町内会長に、支え合いのしくみづくり会議の構成員に入ってもらえないか。 ・交流や体を動かす機会の減少(子ども自身も体を動かしたい)。 	<p>5 荻川やすらぎの間の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いのつながり、介護予防、認知症予防で支え合う地域の茶の間運営の継続 ・民協等と連携し、参加者を増やす。 ・参加者送迎の実施に向けての検討(藤の木原福祉会と連携したしくみづくり) <p>6 いきいき塾と支え合い、老人クラブと地区社協活動との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき塾の活動を福祉的観点から評価し、活発化に向け支援する。 ・地域の支え合いを老人クラブとしても役割としてお手伝いをしたい。 <p>7 子どもの居場所の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おぎかわ子ども食堂のPRの工夫を検討 ・川口ほうかご広場への支援 ・子どもとの関わりを大切にする地域づくり <p>8 除雪の助け合い活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪活動の継続(車場5、中野2、こがね町) ・できることから検討 <p>9 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻川地区福祉推進連絡会議を開催(年2回)し、各組織と連携しながら、福祉活動を推進する。 ・地域と小中学校との関係づくり ・取り組みについては、課題を検討しながら進める。 ・ラジオ体操の実施(あおば通) 	<p>コミ協 地区社協 社会福祉法人</p> <p>コミ協 いきいき塾 老人クラブ 地区社協</p> <p>コミ協 自治会・町内会</p> <p>自治会・町内会</p>

